

野菜の作業 冬～春期にかけての品目確保と来年の生産にむけての準備をしましょう！

種まき	定植（植付け）	土づくりのポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・ホウレンソウ ・二十日ダイコン ・コマツナ ・シュンギク <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タマネギ ・イチゴ <p>など</p>	<p>土づくりの時期となりました。特に露地野菜では気象条件により品質に影響が出やすく、土づくりの有無が作柄に大きく影響します。土づくりのポイントとしては、3つあります。</p> <p>1 物理性の改善 排水対策や有機物の施用により物理性を改善させますが、有機物の施用は栽培品目により上限がありますので注意します。また緑肥はイネ科作物に効果があります。</p> <p>2 化学性の改善 肥料成分の余剰や不足を確認したり酸度矯正を実施しますが、基本となるのは土壌診断結果ですので、土壌を採土し土壌診断を実施します。</p> <p>3 生物性の改善 有機物の施用や輪作による微生物の増加を図ります。連作をするとご存知の通り病気や害虫が増えて収穫になりません。複数の畑をお持ちの方は出来るだけ輪作を実施すると、土壌病害や病虫害の発生を防ぎます。</p>
	<p>収 穫</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ハクサイ ・ネギ ・ダイコン ・チンゲンサイ ・野沢菜 ・長芋 <p>など</p>	



翌年の作付計画

そろそろ来年の資材・農薬等の注文の時期となりました。来年の作付け計画は頭の中では出来ていますか。参考として以下の点について計画を立ててみましょう。また資材の確認を行い無駄の無い資材注文にしたいものです。

畑の活用（輪作・休耕・緑肥作物の導入） 作業労力（時期収穫別作業配分） 作付品目（新規作目作型の検討） その他（経営全体の見直し）
経営品目に役立つ作物

名称	目的	備考
緑肥作物 クリーニングクロップ	土壌の物理性等を改善	マメ科 イネ科
共栄作物 コンパニオンプランツ	混植することによる病虫害防除	マメ科 キク科 ネギの仲間
障壁作物 スクリーンプランツ	農薬飛散防止や害虫阻害	ソルゴー ムギ

『温風乾燥機』

クボタ農機さんのご厚意で、実験用として温風乾燥機をお借りしました。この温風乾燥機は野菜・果物などを電熱の温風で乾燥する機械です。

野菜・果物など何種類かの作物を実験しました。実験した作物はリンゴ・ブドウ・柿・梨・野菜はカボチャ・ジャガイモ・人参・ナス・ネギ・さつまいも等を乾燥してみました。

リンゴはスライスして、ぶどうは房から外して粒で乾燥してみました。リンゴは60 で24時間行いました、種類によりますが酸味と甘味のバランスが良い美味しい干しリンゴが出来ました。

乾燥時間は作物によりばらつきがありますが、乾燥することにより保存がききます、又使いたい時に水に戻すだけで手間がかからず便利です。

こらからの時季、切り干し大根・ほうれん草・小松菜等も色よく乾燥でき楽しみかと思えます。



農業豆知識

獣害対策（電気柵編）

電気柵の基本

電気柵は獣害防止または放牧等で広く使われています。電気柵は100Vやバッテリーを電源とする電牧器が発生させるパルス電流を電牧線に流し、これに触れた動物にショックを与えて、田畑への侵入を防ぐものです、

適切な電気柵や正しい設置方法

距離にあった電牧器の使用・・・適正な距離にあった電圧が必要です。

対象動物の設計・・・侵入動物は大きさが様々ですので動物別に設計します。

地形に合った設計・・・動物に合った高さなどで設計しても地面の凹凸によって隙間が生じたりしますので、相対的に地なりに高さ等を修正します。

アースが十分なこと・・・電牧器毎にアースを設置しますが、3本を1本にしたり打ち込み長さを調整したりすると十分な効果はありません。

漏電管理・・・設置後の漏電管理は定期的に行うこと。

適正な管理

電気柵の正しい設置は維持することですが、その中心はなんといっても漏電管理です。

機械の能力によって漏電時の電圧の下がり方は大きく異なります。特に伸びてきた草によって漏電が引き起こさる場合がありますので、電圧チェックはかせません。機種によっては一定電圧以下になると警告してくれる資材や漏電場所の方向を示してくれるテスターなど、便利な製品もいろいろありますのでこれらを利用すれば多少なりとも労量が軽減できます。



対象動物

イノシシ・・・最下段を20cm以下とかなり低い位置にとりますので、漏電管理がシビアになります。

サル・・・電気柵だけで防除は困難ですので、フェンスと電気柵を併用使用となります。

シカ・・・段数は2～4段が一般的ですが、今回長和町では2段で効果がありました。

価格

使う資材や何段張るかにより値段が変わってきますが、2段張りで3万前後/100m位になります。

畑の酸度の見分け方

一般的には、畑の土壌を採土し、検査機関に依頼し結果から土壌酸度が判明しますが、皆さんの畑に発生している雑草から大まかですが酸度が推定されます。

強酸性・・・シロクローバー・スギナ・スズメノテッポウ・イヌビエなど

弱酸性・・・アカザ・ギンギシ・イヌガラシ・カヤツリグサ・オオバコなど

微酸性・・・レンゲソウ・ナズナ・エノキグサ・スズメノカタビラなど

中性・・・ハコベ・イヌフグリ・ヤエムグラ・ホトケノザ・ノゲシなど

このような雑草が生えていたら、土壌の状態も判明しますので、中性の土壌に石灰類を散布するとアルカリ性に偏ってしまいますので、土壌診断が出来ない場合の目安としてください。

あさつゆ連絡先 電話:FAX 41-1062

技術事項作成協力：上小農業改良普及センター
地域係 近藤普及指導員（25-7156）